県議選出馬 四、九三一票

毎年作っている浜武レポート。昨年は皆様にお届けする事なく一年過ぎてしまいました。

市長選、県議選と戦い、流石に全てを使い果たしました。

「藤田市長からいくら貰ったとや？いっぱい貰っとる事を知っとるぞオイコラ」

市長選後そんな電話もありました(そういう市長選がそれまで続いていたのでしょうか？勿論、私は貰ってません。自腹です)。

今年も無理かなと締め切りギリギリまで格闘しました。

「あなたのは毎年読んでるよ」住民からかけられる声を励みに、2年越しになりましたが、レポートを皆様にお届けしたいと思っています。どうかお読み下さい。

自民党総裁選 第50回総選挙

自民党は「総裁選」を賑やかにやってその勢いで解散総選挙。過半数の議席維持」と考えていたようでした。

総裁選は公職選挙法適応外のため、テレビ報道に制限がありません。よって、現行規定最長の選挙期間を設定したそうです。

候補者も９人出しました。

毎日テレビをつけると自民党総裁候補の誰かが自民党の宣伝を行うので、衆議院選挙の事前運動（期間）は必要ありません。

労働者 皆厚生年金加入

前回の総裁選は「新しい資本主義」を掲げ反アベノミクスを標榜した岸田文雄候補が総裁選を勝ち抜きましたが、その勝因の実は絶対的権力者（裏ボス）だった二階俊博自民党幹事長を切る人事を断行した事でした。

そして勢いそのまま「岸田は何かを変えてくれる」と国民を信じこませ、総選挙も大勝しました。

しかし、今回は未記載（裏金）議員を抱え、前回の大勝分からの反動もあり、余程、選挙の顔がないと大惨敗する事は選前から党は分かっていたようでした。

そこで、知名度の高い小泉進次郎候補のカードを自民党は切った訳ですが、全省庁の叡智を集めて作られた出馬表明文の中に厚労省が温めてきた政策「労働者全員厚生年金加入」を発表させます。

「ろくに働いた事ない人間が何を言う（大臣経験者、落選）」

自民惨敗

石破茂総理は経済財政諮問会議を残す等「新しい資本主義」の路線は引き継ぐ事で総裁に就任します（中韓との関係も）。

そして、解散も補正予算審議の後を想定していたようでした。

しかし渦中にいると見えないもので解散してしまいました。

私は上記ユーチューブ動画の表題のように与党は野党に不利な「憲法」「台湾有事」「エネルギー政策」で総選挙に臨むと構えてました。

金塊の発見

「103万円の壁を選挙公報で書いたの浜武候補が初めてじゃないですか？」

市議を辞し、全国が注目する二〇〇五年の衆議院補欠選挙。記者から聞き知りました。

玉木雄一郎国民民主党代表は「金塊を手にしたな」一方「連合は許さないよな(二、三面詳述)」と今後の政局〈財源〉を心配しました。

今回の総選挙は自民党の慢心と最低賃金一、五〇〇円、103万円の壁撤廃等「所得を増やす」政策の可能性に気づかせた選挙戦でした。

重い選択の年

与党は次こそ野党がまとまらない争点(選択)で選挙に臨むでしょう。

これらの争点(選挙)は日本の未来にとって重い選択になるものです。

元 筑紫野市議会議員 浜武しんいちのfbページ
6日・
争奪戦
コーヒー豆の価格が史上最高水準に　原因は天候不良に円安　中国でも需要上昇
https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/1611594?display=1
僕が政界に入った時、新党さきがけの田中秀征先生が経済の数字の明るさを政界に持ち込まれた。だから僕もついていけるように数字を勉強したのだけど、90年代初頭、中国人全員が毎日１個卵を食べられない数字は衝撃的だった。
中国人民が毎日卵を１個食べるには鶏を飼わないといけないのけどその鶏を養うのに餌が必要でそのためにカナダ一国分の穀物が必要だったことを記憶する。
今、中国の移動手段が自転車から車に変わったように鶏→豚肉→牛肉に生活様式の西洋化が進んだ（穀物メジャーが仕掛けた？）。鶏より牛の方が餌を食べるのは子どもでも分かることだ。
00年代日本による自動車の保有割合と同等の車を中国が所有すると地球上のガソリンが倍消費される統計があったが（地球が２個必要？だから電気自動車を中国指導者は選択したのだろう）食糧は代替えが効かない。
今年の夏は暑かった。動物は移動できるが植物はそうはいかない。コーヒー値上げが序章にならないことを天に祈りたいがただ祈る前に人知（政治）を尽くさないと祈りは通らない。温暖化、農業（食糧問題）経済（物価高騰）化石燃料（産業エネルギー）原発（安全保障）。2025年はどの深さまで社会課題（世界）に答えられるか、政治家の技倆と有権者の選択が試される年になる。

NEWSDIG.TBS.CO.JP
コーヒー豆の価格が史上最高水準に　原因は天候不良に円安　中国でも需要上昇 | TBS NEWS DIG

浜武しんいちのプロフィール

- 昭和40年10月23日 東京生まれ59才 筑紫野市山口堂中に在住
- 昭和49年筑紫野市むさしヶ丘に転居
- 山口小→二日市中 東福岡高卒業
- 高卒後工業デザイナー
- 久留米大学 法学部法律学科入学
- 大学在学中 広告デザイン・番組制作
- 大学卒業後政界へ
- 数学専門塾設立
- FMラジオパーソナリティ
- 筑紫野市議会議員３期
- 会社役員（理数専門塾）
- 団体顧問（教育団体）
- 教育系ユーチューバー
- 家族　妻弘子（旧姓平山）

鈴木宗男(すずきむねお)プロフィール●参議院議員（１期）1948年1月31日生まれ75才、北海度足寄町農家の次男として出生。大学在学中に中川一郎衆議院議員秘書。拓殖大学政経学部卒業。35才で衆議院選挙（北海度旧５区）初当選。衆議院議員８期。1991年10月杉原千畝の名誉回復。第二次橋本改造内閣で北海道開発長官・沖縄開発長官。1997年学童疎開船「対馬丸(沖縄→長崎)」発見を実現。対馬丸記念館建設に尽力。小渕第一次改造内閣で官房副長官。1999年自民党総務局長。沖縄普天間基地問題に尽力。2002年逮捕。03年保釈、同年胃癌の手術。04年衆議院議員選挙落選（得票数48万 5382票）。2005年衆議院議員当選国政復帰。2009年同当選も2010年収監。同失職。2019年参議院議員当選、国政復帰。現在に至る。聞き手●光永勇（みつながいさむ）全国勝手連連合会会長。議会新聞社主筆。日本地方新聞協会理事。沖縄県宮古島出身。

島民に残された時間は少ない

光永●ズバリお尋ねします。これだけの（米欧寄りのマスコミ、政界の）状況の中で敢えてロシアに行かれたのはどうしてですか？

鈴木●平均年齢が84歳を超えた元島民の皆さんの想いを私が形にしたい、これがロシアに行った最大の理由です。偽りはありません。

沖縄県との関わりは深い

光永●沖縄開発庁長官を歴任されています。沖縄との関わりは長いのですか。

鈴木●あの大戦で亡くなられた軍人で最も多いのは沖縄出身の兵隊さん。二番目は北海道出身の兵隊さんなのです。沖縄の方はそのことをよくわかって頂いていて慰霊碑は他県のものより大きく作ってあります。

沖縄からはるばる中央省庁に陳情に来られていた時の話ですが、慣例で省庁の役人たちは合わない。

それを見た私は烈火のごとく怒った(当時は航空運賃も高かった)。

光永●意外ですね。

デニー沖縄県知事とは話しをする

鈴木●いやいや、国会議員の時代から話はしてます。

光永●基地問題は当時、どうだったのですか？

鈴木●デニー知事は話をしますよ。

光永●我々に先生のお話をお聞かせ頂けませんか？

鈴木●すぐに行きます よ。何時にしますか？私は沖縄と関わりが深いのです。

是非沖縄へ

何もできていない。これから二十年。できると思いますか？

光永●橋本、小渕内閣の時、この問題を解決しようとした。数千億で。その後私は逮捕された。

基地問題

私が国政に復帰したら、数兆円で辺野古の工事が進んでいる。あれから二十年。

サトウキビの価格の陳情だったようですが会って話を聞くように、と。

そのはるばる陳情にきた職員たちが現在、沖縄で首長として活躍しています。

光永●沖縄県知事とはお話はされるのですか？

鈴木●デニー知事は話をしますよ。

80年代東西冷戦の時代から国際情勢を知る生き字引 領土問題から身近な農政まで郷土に鍛え上げられた人間

鈴木宗男独占インタビュー
議会新聞令和６年臨時号より抜粋

◆◆◆

日本はポツダム宣言受託後、連合国、とりわけ米国中心の統治下に入り法整備を含めた国家の骨格を再デザインした。

先人たちの叡智により早期に独立、国際舞台への復帰を果たしたが、唯一の陸上戦が繰り広げられた沖縄は本土復帰を待たねばならなかった。

そして、復帰後、基地問題、経済格差と沖縄には忍従の日々が続いている。

ところで日本政府は原則、独立は得ているものの、米欧（G7）の意向に反する政策決定はできない建てつけになっている。

米欧と戦争状態にある国家との友好関係は罰せられるものではないが許されず、米欧による不利益を受ける事になる（経済制裁、他）。

よって日本政府は米欧と戦争状態の国とチャンネルは持てない。

しかし、米欧が掲げる「法による支配」に従えば選挙で選ばれた「議員」は「住民の投票」によりその地位は保証され、その権能を剥奪されることはない。

この権能を持つ議員が不法行為（実定法違反）や公序良俗（ローマ法）に反しない限り、官僚や米欧ができない「対話」を実行できる。（これが民主主義である。）

〈文責・濱武振一〉

元 筑紫野市議会議員 浜武しんいちのfbページ
9時間・
昭恵夫人
福岡の高校生がハワイ大学と動物殺処分の現状を意見交換
https://www.youtube.com/watch?v=-90WP0NEzQA&t=5600s
前知事は水素を、現知事はワンヘルスを福岡県の独自政策として打ち出しているが、いずれも「何故、国家で行うような事業をわざわざ福岡県が予算を使ってまで？」と素直に思っていた。
しかし服部福岡県知事がハワイ州と「ワンヘルスの推進に関する覚書」を締結し日米との交友まで進展させたのは国益に適うものだ。
上記はその交友の一環として動物殺処分の意見交換がハワイ州と福岡県のとり持ちで行われた、とのニュース動画である。
福岡県議会には福岡県日米友好議員連盟が超党派で活動しており民間には日米両国の親睦と理解をはかり、文化の交流に寄与することを目的とする福岡日米協会がある。また、福岡には米国領事館が大濠公園のほとりに開設されている。
◆◆◆◆◆◆◆◆
石破茂新総理はドナルドトランプ次期米大統領との面会が叶わなわず、ワシントンDCにある日本大使館の外交能力に疑問符がついていたが（下記、外務省は沖縄県より劣る？のでは）安倍晋三総理（当時）は世界に先駆けトランプタワーで就任前のDトランプ氏に（外務省を飛び越え）面会できたのは温めた「人脈」があったから実現できたのは有名な話である。
「人脈」とは「出会い」から始まり「友情」で継続する。「友情」は「損得」では維持できない。
https://youtu.be/ZAEVUWAXs3Q?si=YFAy4Zi3KVes_diP
福岡県議会は南アフリカに視察団を送り話題になったが、波多江祐介県議からも話を伺った（高額な旅費は自腹で、たべものに慣れなかったと）。私も現職時代、イラクバクダットや中国の沙漠緑化に同行し筑紫野市政には直接寄与しないかもしれないけれど国益に資する政府の届かない次元の外交に取り組めたと自負する。
だからこのような日米の関係「友情」を福岡県は続けて欲しい。

YOUTUBE.COM
佐藤優　鈴木宗男 【トランプと兵庫県知事が勝った意外な理由とを在ワシントン日本国大使館の犯罪的無能。そして東アジアで絶…